

令和8年度 取手市の学校教育

取手市教育委員会 指導課 教育総合支援センター

不適切な指導の未然防止

児童生徒が安心して学べる 魅力ある学校・学級づくり

Q 「魅力ある学校・学級」って、どんな学校・学級？

A 児童生徒が楽しく安心して通うことができ、もっている力を発揮できる学校・学級です。

Q どのように「魅力ある学校・学級づくり」に取り組めばいいの？

A 特別活動等による「集団づくり」や各教科の「授業づくり」を通して、全ての児童生徒に活躍の場と互いに認め合う機会を確保することが大切です。

児童生徒の“自己指導能力を育成”するために

各教科の学習
総合的な学習の時間

グループで話し合う
制作する
発表する 等



児童会・生徒会活動

認め合う 励まし合う
支え合う
協力して、実践する
友達のよさを知る 等



自分に対する肯定的な評価
自己肯定感の向上
他人の役に立った、認められた
自己有用感の向上



学校行事



道徳・学級活動

自己をみつめる
合意形成、意思決定する
分担して、協力する
実践する 等



教職員の支援の方向性 “させる” から “支える” へ

各教科と生徒指導を一体化させた授業づくり・集団づくり

生徒指導の
実践上の視点

授業づくり

集団づくり

自己存在感
の感受

□児童生徒の多様な学習の状況や興味・関心に応じた、分かる授業、楽しい授業となるよう心がけていますか。

□児童生徒が、学級集団の中で役割を担ったり協力し合って活動したりできるようにしていますか。

共感的な人間
関係の育成

□児童生徒が、間違いやできないことについて、お互いの考えに関心を抱き合う授業づくりに努めていますか。

□児童生徒も、教職員も、積極的に、自分と異なる考えや意見を認めていますか。

自己決定の場
の提供

□授業で、児童生徒が自分の意見を発表したり、対話や議論したりする機会をつくっていますか。

□学級や学校生活がよりよいものになるよう、児童生徒同士で話し合い、決定し、実践する機会をつくっていますか。

安全・安心な
風土の醸成

□学校が、児童生徒にとって自分が大切にされている、認められていると感じる場所となるよう心がけていますか。

□児童生徒がお互いの個性や多様性を認め合い、活躍できる機会や場を提供していますか。

不適切な指導の未然防止

- 怒鳴ったり、威圧的な態度で児童生徒を指導したりしないように心がけている。
 - かつとなったり、興奮したりした時には、その場を離れたり少し時間をおいてから対応したりするなど、自己コントロール（アンガーマネジメント）ができています。
 - 児童生徒の問題行動の指導にあたっては、児童生徒の行動の背景や特性、家庭環境等の様々な要因を考慮し、指導することを心がけている。
 - 自分の指導を振り返り、自分本位な指導に陥らないよう心がけている。
 - 他の同僚より「劣っている」と思われたくないという気持ちが、体罰や不適切な指導につながることもあることを理解している。
- 「不祥事ゼロに向けたセルフチェックシート」より

①児童生徒理解を深める→**行動の裏を理解**

②魔法の言葉→**「どうしたの？」**

この言葉・態度、子どもを笑顔にできるかな？

わいせつ事案の未然防止

●定期的な点検

- ・ 校内に不審なカメラなどが設置されていないか、管理職を含む複数名で定期的に点検。
【好事例】ある学校では、PTA役員等の保護者も入って一緒に点検。
- ・ 空き教室の整理整頓、不要なものは置かない。

●撮影におけるルールの徹底

- ・ 個人所有のスマートフォンやデジタルカメラでの児童生徒の撮影はしない。
- ・ 児童生徒との私的な電話、メール、SNS等でのやり取り、電話番号やアドレス等を伝えない。
- ・ 個別の相談や指導は必ず複数で行い、密室状態を避ける。

●相談しやすい環境づくり

- ・ 生活アンケートやオンライン相談窓口、ネット目安箱、担任等との面談など、児童生徒が悩みや困り事を相談しやすい体制をつくる。
- ・ 教職員も同様に、あらゆる機会に管理職等に相談しやすい、風通しのよい職場環境づくりをする。

ハートと♥️アートで子どもたちの未来を拓く 取手市の学校教育

児童生徒の気持ちを理解する

- ・ 全員担任制(中学校)・チーム指導(小学校)
- ・ 教育相談部会システム
- ・ 教育総合支援センターによる相談・支援
- ・ いじめ、不登校問題への対応
- ・ 心理、発達、福祉、法律などの専門家の活用
- ・ ICT環境を生かした相談体制(心のセーフティネット)

○数値目標

- ・ 先生はあなたの話を聞いてくれる・・・100%
- ・ 困ったとき不安なとき学校の先生に相談できる・・・85%



探究的な学びで思考力・表現力を高める

- ・ プレゼンテーションフォーラム
- ・ 朝鑑賞(小学校) 対話型アート鑑賞ツアー
- ・ サステナブル学習プロジェクト(環境教育)
- ・ 英語教育(「AI×リアル」で話せる・生かせる英語プロジェクト)
- ・ ICT教育(プログラミング教育、生成AI)
- ・ キャリア教育(性と生命(いのち)の学びプロジェクト)

○数値目標

- ・ 発表やプレゼンで自分の考えが伝わるよう工夫・・・95%
- ・ 探究的な学びの充実、思考力・表現力を高める教育活動・・・100%



多様なニーズに対応する

- ・ 読み書きの困難さに対応する支援プログラム
- ・ 成長の様子や支援を引き継ぐ相談記録ファイル
- ・ 特別支援教育推進グループの活性化

○数値目標

- ・ 一人一人の特性やニーズに応じた支援・・・100%
- ・ 「個別の指導計画」の作成と活用・・・100%



保護者や地域と連携する

- ・ 学校運営協議会を柱とする保護者、地域との連携
- ・ ボランティアや地域の方による地域学校協働本部
- ・ 多様な地域人材の積極的な活用

○数値目標

- ・ 地域と連携した地域学校協働活動率・・・70%
- ・ 地域人材活用事業活用率・・・90%



**複数の教員が様々な視点で児童生徒を見ることで、
サインや変化に気付けるようにします**

中学校全員担任制について

★学年担当教員が一定の期間で交代しながら【担任】をします。

⇒ 3年生は「進路担当教員」：定期面談、進路指導・事務、学級事務など

1・2年生は「学級事務担当教員」：出席簿や通知表、提出物の管理など

⇒ サイクルは、1週間、2週間、1か月など学年・学級の状況で変わる

⇒ 誰に相談したらいいのかわからないときには、【学年主任】に連絡・相談

小学校チーム指導について

★一部の授業、朝の会、帰りの会、給食指導、清掃指導などの時間に、学級担任以外の教員も学級を指導する時間を設定

⇒ 《授業による取組例》学年内での担当交換、高学年ブロックでの担当交換

《その他の取組例》授業だけでなく、掃除や給食、朝・帰りの会などで担当が交代

児童生徒の悩みや不安等にチームで対応するための教育相談部会

教育相談部会システム 4つのポイント

「教育相談部会システム」では、児童生徒の悩みごとや困りごとに気づき、チームで支援するために、「教育相談部会」を設置。

Point 1

複数の教員で「小さな変化」に気づき、情報の共有

Point 2

情報を集約し「教育相談部会」へ提案

Point 3

「教育相談部会」を定期的で開催（小学校は2週間に1回、中学校は週1回実施）

Point 4

「専門的な立場からの意見」の交流

教育相談部会は、学校と専門家が積極的に連携を図ります。



チーム指導（小学校）
全員担任制（中学校）

人間関係づくり
～グループワーク～

教育相談部会システム

魅力ある学校づくりの実現

校内サポートルーム

- 人…友達・先生がいる
- 時…授業・行事が楽しい
- 場…安心できる居場所・
自分が必要とされる
場所がある

ポジティブな行動支援

子どもと親の相談員

スクールカウンセラー

スクールソーシャル
ワーカー

SNS教育相談

教育総合支援センター
〔適応指導教室ひまわり〕



取手市の特色ある学び

プレゼンテーションフォーラム

1 ねらい

- ・児童生徒がICT機器を活用して、SDGsや地域課題に関する探究成果を論理的にまとめ、発表することを通じて、思考力・表現力を高めることを目的とする

2 実施期日

令和9年2月5日（金）

3 実施場所

取手ウェルネスプラザ
多目的ホール

○昨年度の反省より

- ・プレゼンの質の向上（ほぼノー原稿）
→ 丸暗記からの脱却へ
- ・×英語プレゼンテーションフォーラム
→ 聞き手意識（小4年生からいる）
- ・代表児童のみの取組になっていないか
→ 中学校区ミニプレゼンテーションフォーラム
- ・主旨や内容の確実な周知



◎概案が決まったら（7・8月ごろ）、
担当者向けミニ研修会を開催（30分程度）

朝鑑賞（小学校）対話型鑑賞ツアー

1 ねらい

- ・（児童生徒）思考力と表現力の育成
アートの視点を通して、正解のない自由な発想や表現を大切にし、授業の根幹となる「対話力」を身に付ける
- ・（教職員）授業力の向上
朝鑑賞を通じてファシリテーション能力の向上を図り、普段の授業に生かす

2 実施期日

年間を通じて、
月1～2回程度
朝の15分間

3 内容

美術作品を鑑賞し、思いを伝え合う

4 対象校

小学校全14校で実施
中学校は実施方法を検討

とりでサステナブル学習プロジェクト

1 ねらい

- ・脱炭素をテーマとした探究学習を通じて、持続可能（サステナブル）な未来をつくるための知恵や価値観を育む
- ・「取手市気候非常事態宣言」を受け、地球温暖化緩和策の取組の一環としてR4から実施

2 実施期日

総合的な学習の時間のうち、
年間を通じて、小学校14時間程度
中学校10時間程度

3 対象学年

小学4年生、中学1年生

4 対象校

令和7年度より全20校で実施

○昨年度の反省より

- ・主旨や内容の確実な周知
- ・Teamsでの連絡体制の徹底



◎今年度の説明会を4月22日（水）に開催

児童生徒の学力向上

児童生徒の学力の現状

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果から

	国語	算数・数学	理科
成果	<ul style="list-style-type: none"> ◎目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力の向上 ◎文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉える力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ◎日常の事象について、目的に応じて表やグラフからデータの特徴や傾向を捉える力の向上 ◎不確定な事象についてデータに基づいて考察する力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ◎植物のつくりや育ち方について理解する力の向上 ◎身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定する力の向上
課題	<ul style="list-style-type: none"> ▲目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける力 ▲文章の構成や展開について、根拠を明確にして考える力 	<ul style="list-style-type: none"> ▲図形を構成する要素とその関係に着目し、図形の性質や図形の構成の仕方について考察する力 ▲数に関する事象を考察し、事柄が成り立つ理由や成り立たない理由を数学的に説明する力 	<ul style="list-style-type: none"> ▲自然の事物・現象を比較し、差異点や共通点を基に問題を見だし、表現する力 ▲身の回りにおける気体の密度の大小関係について分析し、解釈する力

R8の重点

(授業づくりの手引
「取手市学びのコンパス」の活用)

国語 ○相手意識・目的意識をもった言語活動の重視

算数・数学 ○正しい数量概念の獲得 ○説明する活動（アウトプット）の充実
○単元を貫く学習課題 と まとめ・振り返り

理科 ○児童生徒自ら課題を見いだす授業づくり

きめ細かな個別指導

目の前の集団の課題把握

○S-P表の活用

- ・全国学力・学習状況調査
- ・学力診断のためのテスト
- ※教務主任会で伝達



全ての教科で「発信型」の学習活動の充実を

ICTの効果的な活用 ~ 2nd GIGAに向けて~

ICTスキルの確実な習得

新スキル習得表 (学びのコンパス参照)

A: 基本操作	1年	2年	3年	4年	5年	6年	***
1 タブレットを起動/終了する(電源操作)。	○	○	○	○	○	○	○
2 ID、パスワードを適切に管理する。	○	○	○	○	○	○	○
3 パッケージ-容量を確認し、充電できる。	○	○	○	○	○	○	○
4 タッチパッド・タッチパネルの基本操作ができる。(クリック、ダブルクリック等)	○	○	○	○	○	○	○
5 タッチパッド・パネルでドラッグ&ドロップ、コピー&ペーストができる。	○	○	○	○	○	○	○
6 先生からの指示で、決められたアプリケーションを起動できる。	○	○	○	○	○	○	○
7 学習活動に適するアプリケーションを自分で選択して起動できる。	○	○	○	○	○	○	○
B: 文字入力	1年	2年	3年	4年	5年	6年	***
1 キーボードからアルファベットや数字の入力ができる。	○	○	○	○	○	○	○
2 キーボードの主要キーの位置と操作内容がわかる。(Enter、スペース、Delete、Esc等)。	○	○	○	○	○	○	○
3 大文字と小文字の切り替えができる。	○	○	○	○	○	○	○
4 手書きやディスプレイ入力、フリック入力等で文字や数字を入力できる。	○	○	○	○	○	○	○
5 ローマ字入力ができる。	○	○	○	○	○	○	○
6 半角/全角の切り替えができる。	○	○	○	○	○	○	○
7 自分の名前をローマ字で入力できる。	○	○	○	○	○	○	○
8 文庫ごとに交換することができる。	○	○	○	○	○	○	○
9 1分間に80文字以上入力できる。(キーボード9級程度)	○	○	○	○	○	○	○
10 1分間に80文字以上入力できる。(キーボード1級程度)	○	○	○	○	○	○	○
11 45分(授業)で、推敲を含めて600字程度の作文を作成する。	○	○	○	○	○	○	○
12 80分(授業)で、表やグラフを含めて1000字程度のレポートを作成する。	○	○	○	○	○	○	○
13 タッチタイピングで思考(考え)を表現(入力)する。	○	○	○	○	○	○	○
C: フォルダ/ファイル管理	1年	2年	3年	4年	5年	6年	***
1 ファイルを保存する。	○	○	○	○	○	○	○
2 保存したファイルを開く。	○	○	○	○	○	○	○
3 上書き保存ができる。	○	○	○	○	○	○	○
4 ファイルの名前変更ができる。	○	○	○	○	○	○	○
5 One driveに保存したファイルを開く。	○	○	○	○	○	○	○
6 ファイルの新旧がわかる。	○	○	○	○	○	○	○
7 本体保存のファイルをネットワークフォルダへ移動する。	○	○	○	○	○	○	○
8 ファイルの種類(拡張子)を知る。	○	○	○	○	○	○	○
D: カメラ機能(写真・動画)	1年	2年	3年	4年	5年	6年	***
1 QRコードを読み込んでリンクを開ける。	○	○	○	○	○	○	○
2 写真を撮影して、見る。	○	○	○	○	○	○	○
3 動画を撮影して、再生する。(付属アプリやWebタイムシフトカメラ)	○	○	○	○	○	○	○
4 撮影した写真を拡大や縮小、トリミングをする。	○	○	○	○	○	○	○
5 画像の簡単な編集(明るさ修正や背景削除など)をする。	○	○	○	○	○	○	○
6 画像を圧縮してファイルサイズを小さくする。	○	○	○	○	○	○	○
E: インターネット検索	1年	2年	3年	4年	5年	6年	***
1 ネットワークに接続しているかどうかを判断できる。	○	○	○	○	○	○	○
2 インターネットに接続し、閲覧する。	○	○	○	○	○	○	○
3 キーワードで検索をする。	○	○	○	○	○	○	○
4 入手した情報の真偽を複数のサイトで確かめる。	○	○	○	○	○	○	○
5 作品にHPの内容を利用する場合、引用元を明示できる。	○	○	○	○	○	○	○
F: Officeアプリ(Word/Excel/Power Point)	1年	2年	3年	4年	5年	6年	***
1 文字の大きさや色などをカスタマイズする。	○	○	○	○	○	○	○
2 書式(用紙サイズ、余白や文字・行間など)を設定する。	○	○	○	○	○	○	○
3 縦書きができる。	○	○	○	○	○	○	○
4 イラストを挿入する。	○	○	○	○	○	○	○
5 図や写真、表などを挿入する。	○	○	○	○	○	○	○
6 エクセルで連番、日付の入力、並びかえができる。	○	○	○	○	○	○	○
7 エクセルで基本的な関数(合計・平均など)を使用する。	○	○	○	○	○	○	○
8 エクセルで表からグラフなどを作成する。	○	○	○	○	○	○	○
G: プレゼンテーション(発表ノート、パワーポイント)	1年	2年	3年	4年	5年	6年	***
1 先生からの発表ノートを受け取って編集し、提出する。	○	○	○	○	○	○	○
2 発表ノートを使って、自分の考えを1枚のスライドに表すことができる。	○	○	○	○	○	○	○
3 発表ノートをグループで共有し、グループで作品を見合う。	○	○	○	○	○	○	○
4 発表ノートをグループで共有し、グループで作品を作る。	○	○	○	○	○	○	○
5 プレゼンテーションを作成することができる。	○	○	○	○	○	○	○
6 パワーポイントに画像や動画を貼り込む。	○	○	○	○	○	○	○
7 パワーポイントにアニメーションをつける。	○	○	○	○	○	○	○
8 パワーポイントを使って自分の考えや意見をプレゼンテーションすることができる。	○	○	○	○	○	○	○
H: Teams	1年	2年	3年	4年	5年	6年	***
1 オンライン会議ができる。	○	○	○	○	○	○	○
2 状況に応じてカメラやマイクのON、OFFができる。	○	○	○	○	○	○	○
3 チームのファイルタブにファイルを保存したり開いたりできる。	○	○	○	○	○	○	○
4 チームで課題を提出できる。	○	○	○	○	○	○	○
I: AIドリル(eラブリ、eボード、ドリル付属のデジタル黒板)	1年	2年	3年	4年	5年	6年	***
1 ログイン、基本設定ができる。	○	○	○	○	○	○	○
2 先生から指示された黒板に取り替わる。	○	○	○	○	○	○	○
3 自分で単元や問題を選んで自主学習に取り替わる。	○	○	○	○	○	○	○

タイピングスキルの向上

○打てなきゃ使いこなせない!

⇒3年生以上で、徐々に長文入力に慣れていく

⇒5年生以上で、スムーズに思考を表現することに慣れていく

ICT指導力の向上

- 全員が「できる」に!
- 「ややできる」でも、課題有り
- 「あまりできない」は至急研修
- 校内、学年、グループ、個人での研修を積極的実施
- 指導者用デジタル教科書の活用

生成AIの活用

- 取手市版ガイドラインの策定
 - ・児童生徒用ガイド
 - ・保護者用ガイド
 - ・教職員用ガイド
- 生成AI英語学習アプリ
- Canva児童生徒アカウント配付

全学年でプログラミング教育

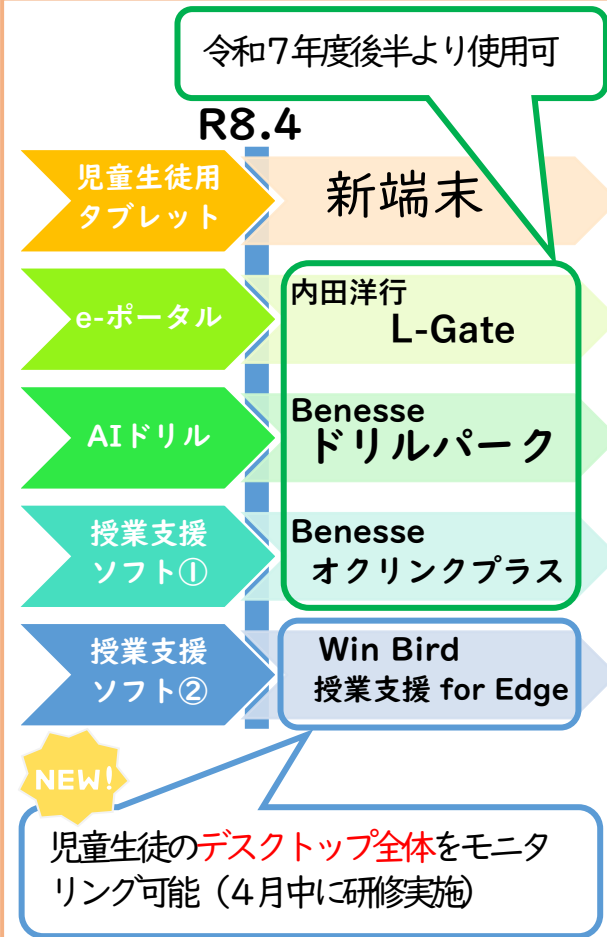
- 1年生から開始(アンプラグド含む)
- 小学校全学年で計画的に実施(各教科のめあて達成のためにやるものもあれば、**プログラミングのスキルを学ぶための時間も必要**)
- 中学校では、技術科を中心に
- 希望研修の実施
- ICT支援員の派遣
- 指導課より貸出できるもの
 - ・赤ボード
 - ・青ボード

NEW!

・ロボホン (8台の2セット)



令和8年度からのICT環境



NEW!

○各校に電子黒板(BIG PAD)を6台ずつ配置

「AI×リアル」で話せる・生かせる英語プロジェクト

「AI」で自信を磨き、「ALT」と心をつなぎ、「世界」へ羽ばたくエキスパートへ「デジタルの強み」と「人の温もり」を融合させ、話せる・生かせる英語を習得し、グローバルに活躍する児童生徒を育成する

1【生成AI英語学習アプリ導入】 小学5年生～中学3年生対象

- ・ **生成AIとの1対1のスピーキングトレーニング**環境を整備する。
- ・ 「英語を話すことの心理的安全性の確保」、「時間と場所を選ばず英語を話せる」、「英語発話量増大」などを実現し、学校と家庭での反復練習により、話せる英語の習得を図る。



2【ALT増員】

- ・ JETプログラムを活用してALTを5名増員し、**市内全20校へ各1名ずつの常駐体制**を確立する。
- ・ ネイティブ英語教員やALTが常に学校にすることで、日常的な英語の発話量を増やす。

3【未来の英語エキスパート育成プロジェクト】 中学2・3年生対象

- ・ 高校生レベルの英語力:**英語検定の準2級、準2級プラス、2級の取得**という英語エキスパートを目指す中学生を支援する(検定料補助・ALTによるトレーニング)
- ・ 生徒の人生の可能性を広げ、将来グローバルな舞台上で活躍する人材を育成する。



多様なニーズに対応した特別支援教育の充実



子どもの学びを支える授業づくりの推進

- ・ユニバーサルデザイン化された授業づくり
- ・読み書きの困難さに対応する支援プログラム研修
- ・自立活動の充実に向けた研修
- ・特別支援教育担当者へのフォローアップ体制の充実(学校訪問・困りごと相談)

就学前における早期からの相談・支援の充実

- ・就学相談説明会の実施
- ・簡易検査とひらがな10文字読み検査の実施
- ・ほのぼの相談会



連続性のある多様な学びの場の提供

- ・みどりのファイルの活用
- ・個別の教育支援計画による関係機関との連携
- ・個別の指導計画による個に応じた指導の充実

県の事業を活用

- ・特別支援学校のセンター的機能の活用
(巡回相談・校内研修)
- ・いなサークル
(県立特別支援学校地域連携体制構築事業)
- ・特別支援教育コーディネーター会議
(特別支援教育推進体制充実事業)





令和8年度 性と生命（いのち）の学びプロジェクト

市内全小中学校に専門家による包括的性教育を体系的に実施

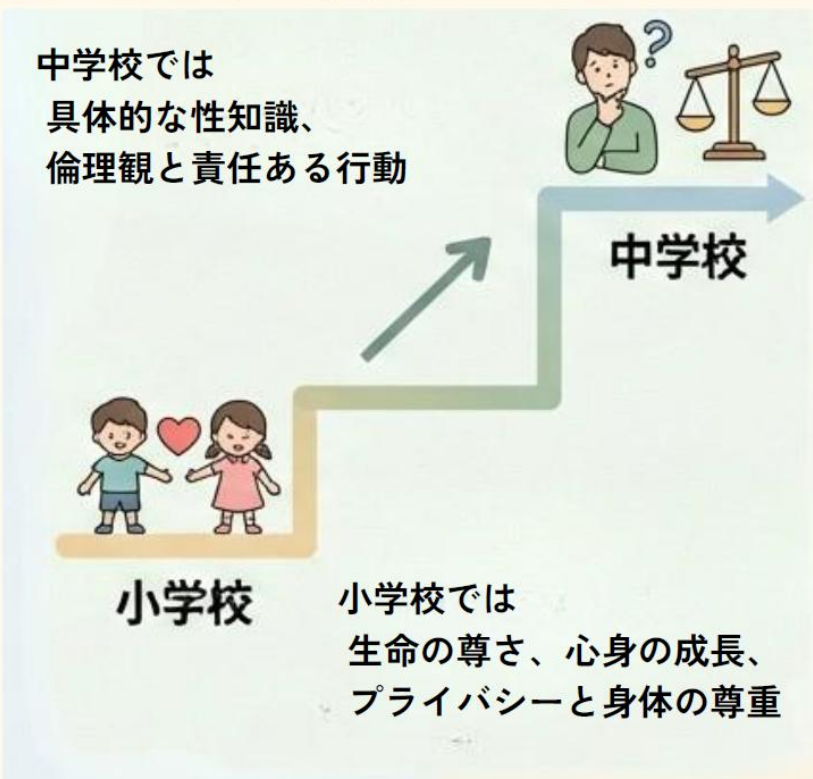
○目的・ねらい

- ・正しい知識の習得
- ・自己指導能力の獲得
- ・性暴力の未然防止

○保護者との連携

- ・承諾書の提出（中のみ）
- ・保護者参観による啓発

○指導内容



中学校（学年単位 / 各2時間）

- 中3: 妊娠の仕組みと避妊、不同意性交等罪、人間関係や家族
- 中1: 妊娠の仕組みと避妊、性的同意、性暴力・デートDV

小学校（学級単位 / 各1時間）

- 小6: 心と体の変化、ルールとマナー、大人になるということ
- 小4: 思春期の心と体の変化、心と体の性の違い
- 小1: 生命の誕生、プライベートゾーン、赤ちゃん人形体験

令和8年度 取手市の学校教育

チーム取手で

「こどもまんなか」の学校を目指しましょう！

取手市教育委員会 指導課 教育総合支援センター